

このテキストを使うすべての人へ

■ 語り、つながり、いきいきと生きるために ■

本書は、日本語学習者（以下、学習者）が、日本語学習支援者（以下、支援者）や日本語教師の話す日本語を、副教材のイラストを併用しながら、「聞いて、まねして（リピートして）、そして、話して（自分のことを語って）」活動する中で、日本語というツールを獲得していくためのテキストです。

近年、わたしたちの周りには生活者として暮らす“日本語を母語としない人たち”が増えていきます。学習者と支援者そして日本語教師が、このテキストを“かけはし”にして互いにつながり、同時に、学習者は日本語で自分を語ることを通して、日本語で地域社会とつながっていく。わたしたちはそんなことを願って、このテキストを作りました。

活動においては、支援者のみなさんは「やさしい日本語」を使い、また、学習者に寄り添って「聴く」ことで、学習者と日本語でコミュニケーションを重ねてください。学習者が自信を持って社会につながる第一歩を踏み出し、よりよく過ごせるよう、「生きる力につながる日本語」をサポートしてくださいと思います。そして、なによりも、このテキストを使うすべての人が、いきいきと楽しみながら、日本語でのコミュニケーションを体験してくださることを、プロジェクトメンバー一同、心から願っています。

最後になりましたが、このテキストを作成するにあたり、大阪府教育庁はじめ、ご協力くださいました多くの方々にも、心よりお礼を申し上げます。

ねんはる ちよしゃいちどう
2020年春 著者一同